

# Q 学校図書館の現状と課題

おおの ひろこ  
大野 洋子 議員



# A 調べるための蔵書の充実に努めたい

**問** 司書教諭と学校司書の配置状況と、各校の蔵書の整備状況は。

**答** 全ての学校に司書教諭を1人、学校司書も1人配置している。図書

**問** 書の充足率は69・0%である。年間

**答** 購入冊数は。また、百

**問** 科事典や図鑑の入替えは。昨年

**答** 年度も1校当たり200か

**問** ら600冊を購入できる予算を確保

**答** した。百科事典の最新版は20

11年版であり、改訂されれば、更新を働きかけた。

**問** 図書の購入に際しての子ども

**答** たちの関わりは。書店が持参した本を子ども

**問** たちが自由に見た上で購入希望図書

**答** を選ぶ選書会を実施している。子どもたちの学習や教員の授

**問** 業へのサポート機能は。各教科で学校図書館を活用し

**答** した。



中学校の学校図書館

た調べ学習を行っている。教員向けには、教育センターが管理する専門図書を貸し出ししている。  
**問** 指定管理となつてからの市立図書館との連携はできているのか。  
**答** 市立図書館からの貸出し利用のほか、調べ学習や読み聞かせの研修等の連携をしている。  
**問** 読解力を伸ばしていくために学校図書館ができることは。  
**答** 子どもたちの読解力と情報活用能力を高めるため、ICTの活用や読書活動の充実に努める。



# Q 化学物質被害から子どもたちの身を守る

いしづか せつこ  
石塚 節子 議員

# A 健康・安全で活力ある生活を実現できる子どもたちを育成



**問** 発達障害の児童・生徒数の推移は。

**答** 学習面や行動面、対人関係で課題を抱える支援の必要な児童・

**問** 生徒は、平成29年度が約120人、30

**答** 年度が約150人、令和元年度が約170人と増加傾向にある。

**問** 農業や化学物質の害で苦しんでいる人の把握は。また、香りの

**答** 害(香害)についての啓発は。化学物質被害で苦しんでいる

**問** 人の数は把握していない。香害については、香りのエチケットに関

**答** するポスターを消費生活センター入口及び庁舎1階の掲示板に掲示し、啓発している。

**問** 給食用のパンや麺類は国内産

に。また、米や野菜などの食材を有機栽培に切り替える考えは。

**答** 本市独自で原料の小麦を全て国内産で賄うのは難しい。また、

**問** 野菜等も、本市及び近隣市町に有機栽培を行っている農家がないこと

**答** ことから、学校給食に使用するの

**問** は難しい。学校における喫煙防止教育や香料などの食品添加物などにつ

**答** いての健康教育は。喫煙の害と健康についての学

**問** 習や食品添加物等の基礎的な学習をして

**答** している。また、香りの害も学校に情報提供し、PTA等で話し合

**問** 合っていたらと思う。